

## 目標達成計画

作成日: 令和元年12月2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者様の思いや意向をスタッフが日々の関り内の中で、一人一人の思いを把握するように努めているが、思いや意向を把握しても確実に記録に残す仕組みがない。情報共有が上手くできていない。	情報共有を確かなものとし、利用者様の思いの実現に繋げる取り組みにしていきたい。	A4の大学ノート1冊を気づきノートとし、申し送りノートと別にして新たに作る。利用者様の思いや意向をスタッフが聞いた場合、気づきノートに記入する。日常生活の中で思いや意向をくみ取り、各担当者がその実現に繋げていく。	6ヶ月
2	26	介護計画書が具体的でなく抽象的になっている。チームでうまく共有できていない。	利用者様の意向に着目し、具体的な目標を設定した個別性の高い介護計画を作成していきたい。	上記で作成した気づきノートをうまく使い、個別ケアの推進を図っていく。日々の思いや意向を各スタッフが聞き出し、気づきノートに記入して情報を共有し、ケアマネに伝え個別性の高い介護計画にしていく。	6ヶ月
3	35	災害対策として避難訓練をしているが、火災想定で行っている。地震、水害等にも昼夜を問わず利用者様が避難できる方法をスタッフが身につけていない。	訓練の中で、具体的な場面の想定や具体的な対応を考える。法人内での連携も含め、より具体的な訓練となるようにしていきたい。	昼夜問わずどう利用者様と避難できるのか各スタッフがそれぞれ考えなければならない。法人と連携して避難訓練をするとともに、日常生活でも階段の上り下りや避難場所への移動を行い、いざというとき速やかに対応できるようにしていく。	6ヶ月
4	2	認知症カフェを月2回、法人内のららカフェに徒歩5分程度で移動し参加し、地域の方と交流を図っているが、負担がかかっている。	グループホーム内でも認知症カフェを開催し、地域とのさらなる交流を図り、利用者様にも役割を担ってもらいたい。	北区北部いきいき支援センターが開催している北区認知症カフェ検討会に参加し、北区で認知症カフェに行っている方々と北区全体で情報共有していく。施設で開催している認知症カフェを参考にし、当施設でも行えないか検討していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。